紫波ネット

SHIWA NET

発行／岩手県紫波町　編集／企画課

産直発・旬を味わう

天ぷらに飽きたら 豚肉巻きでタラの芽を賞味

山菜まっ盛りの産直に数多くあったのがタラの芽。でも天ぷらはこの前食べたし、ゴマあえではちょっともの足りない――と考えたら、こんな料理はいかがでしょう。

目次　CONTENTS

今号のトピックス1
行政改革の効果
一億千七百万円……2
今号のトピックス2
町民意識調査中間報告……6
公民館でおすすめの教室一覧……12
【我がサークル、ただいま奮闘中！】
町民バンド……17
【一番身近なリサイクル&エコロジー】
ポイ捨て禁止条例の効果は……27

1999
No.257 5

「我が町を知る」「我が近隣を知る」「我が将来を知る」ための総合広報

しゃぶしゃぶ用の豚肉で巻いてバターでソテーすると、ご飯にもあう新メニューが。決め手は最後に加えるしょう油です。

❶豚肉の巻く側に片栗粉を軽くまぶし、タラの芽に巻いていきます。豚肉一枚で足りない場合は、もう一枚続けて巻きます。（写真ではタラの芽と分かるようにすべてに巻きませんでしたが、上部の葉の部分まで巻いた方が風味も逃げず、油っぽくなりません）

❷ふたのあるフライパンを熱し、バターを溶かしたら豚肉巻きのタラの芽を並べます。

❸弱火で約3分ほど蒸し焼き状態にしたら、ひっくり返してもう一度3分ほど蒸し焼きにします。

❹焼き上がったなら、強火にしてしょう油を回すように入れます。火を止めて、味をなじませるように肉を転がします。

❺半分に切って皿に盛りつければ出来上がり。付け合わせには、さっぱりとしたサラダがおすすめです。しょう油とバターは相性がよく、タラの芽がない時期でも、豚肉をバターで焼き、しょう油を加えて焼いたものをご飯にもれば、おいしい豚肉丼にもなります。

材料（2人前）
- タラの芽（大）……6個
- バター ……大さじ1
- 片栗粉 ……適宜
- しょう油 ……小さじ2杯

皆さんからのアイディア料理募集しています。地元の素材を使った自慢の料理を顔写真入りで紹介します。申込は下記「紫波ネット表紙料理」係まで

【皆さんからのご意見・情報をお待ちしています】情報は原則としてファックスか郵送でお願いします。
〒028-3390　岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1　ファックス／672-2311　紫波町「紫波ネット」情報係まで
【紫波町ホームページアドレス】http://www.town.shiwa.iwate.jp

行政改革の効果 1億1千7百万円

明日の紫波町を育てるため

厳しい経済状況のなか、限られた財源で効果的な行政運営を行いながら、福祉やサービスの向上を図るため、平成８年３月に６項目からなる「行政改革大綱」を策定しました。

この大綱に基づき具体的行動計画である『行政改革実施計画』を定め、平成８年度から12年度を集中改革期間として色々な取り組みを行っています。ここではこの実施計画に基づく町の行政改革の取組状況についてお知らせします。

今号のトピックス Topics

行政改革の理念

分　権
自己決定と自己責任の原則に立った分権型行政への転換を図り、町民の多様なニーズに対応した個性ある町づくりを進める。

参　加
情報の提供などに努め、分かりやすく親しみやすい行政、透明性の高い行政運営を行いながら、町民参加型の町づくりをより高い目標に向かって進めていく。

効　率
無駄を省き、効率的な行政運営に努めるとともに、足腰の強い行政を進める。

簡素で効率的な行政運営のために行政改革を進めています

行政改革の必要性

行政改革という言葉が毎日のように目に飛び込んできたり耳にしたりします。行政改革は一体何を目標として行われているのでしょうか。

行政改革とは行政の仕組みを変えることはもちろんのこと、次のような視点で行われています。

財政的要因 行政課題に対応するため

バブル経済の崩壊以降、わが国の経済情勢は低迷を続けています。また国の財政赤字が大きな問題となっていることは周知の事実です。金融不安や雇用不安などを中心とした長引く景気低迷の状況の下、国では財政構造改革法を凍結して、景気回復策を当面の最優先課題と位置付け、現在総合経済対策に全力をあげて取り組んでいます。しかしそれに伴い財政赤字がますます膨らむとともに、町の借入金である町債の残高も増加しています。

また町税などの自主財源は依然として乏しく、地方交付税や国県支出金（補助金）、町債などに大きく依存せざるを得ないのが現状です。一方高齢化、少子化、産業振興、地域の活性化など、やらなければならない行政課題は増加の一途をたどっています。

国は財政赤字対策として地方交付税の見直し、地方債の抑制、補助金の統合化などを打ち出しており、景気低迷とあいまって財政の維持ができるか大きな問題となってきています。

外的要因 地方分権の推進のため

次に地方分権の推進に対応した地方自治体の行政体制の整備という面からも、行政改革を推進する必要があります。

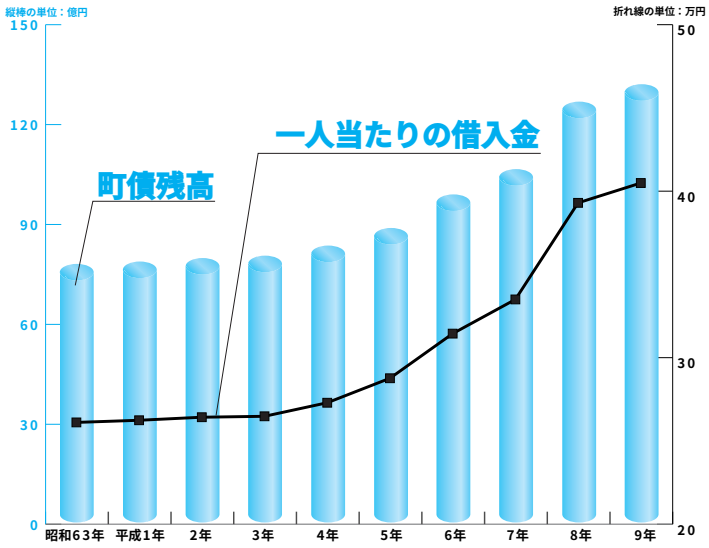
国や県への依存体質から脱却し、分権型社会を構築するために、既成の概念・価値観の転換を図ります。そして対等、自己責任（自己決定）の原則に立ち、町民参加、町民主体の行政を通して、地域の自立を高め、活力ある町づくりを推進しなければなりません。

内的要因 職員の意識改革

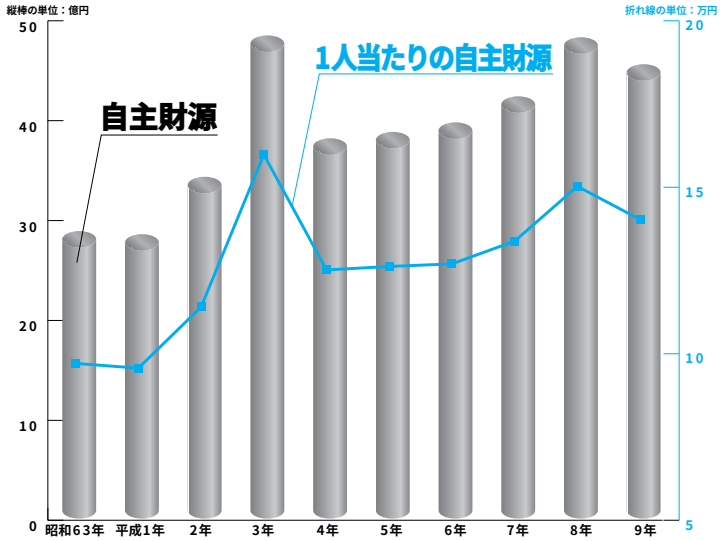
価値観の多様化や意識の変化を背景として、職員の意識改革を進めなければなりません。全職員がサービス提供者として、また地域づくりの担い手としての自覚を持ち、前例・慣例主義から脱却した柔軟な発想が必要です。

地方主権時代にふさわしい、チャレンジ精神、自立心にあふれ、町民の信頼と期待にこたえなければなりません。

町債残高（棒グラフ）と１人当たりの借入金（折れ線グラフ）



自主財源（棒グラフ）と1人当たりの自主財源（折れ線グラフ）



これまでの取り組みと成果

行政改革実施計画では、平成8年度から12年度まで34項目を実施することにしています。ここでは項目ごとのこれまでの取り組み状況をお知らせします。

今号のトピックス

34項目を実施

これまで取り組んできたのは次のとおりです。

◆事務事業の見直し（表1参照）
◆組織・機構の見直し（表2参照）
◆定員管理および給与の適正化（表3参照）
◆効率的な行政運営と職員の能力開発（表4参照）
◆行政の情報化の推進などによる行政サービスの向上（表5参照）
◆会館等公共施設の設置および管理運営の合理化（表6参照）
◆町単独補助金等の整理・合理化（表7参照）：補助金などの見直しについては、『町単独補助金等の整理・合理化ガイドライン』を策定し、行政の責任分野、経費負担のあり方、目的・効果などの検討を加え、運営補助費などの見直しを行っています。
◆その他（表8参照）

表1　事務事業の見直し

◇イベント関係の見直し	・マウンテンバイク大会の廃止　▲785千円 ・町民運動会の隔年開催　▲400千円 ・成人式の開催を午後に　▲860千円
◇町県民税、固定資産税の全期前納報奨金の段階的廃止（H9～　）	▲6,098千円
◇一時借入金利率の入札等	▲6,006千円
◇庁舎案内の改善	・専門の臨時職員を配置　▲716千円
◇省エネの推進（光熱水費）	▲3,346千円
◇ゴミの減量化	・分別収集、リサイクル活動の推進　▲25,917千円 ※参考　国民一人当りゴミの量　1,100ｇ／日 町民一人当りゴミの量　731ｇ／日
◇温泉バスの送迎運行委託	▲872千円
◇入札事務の一元化	・入札事務の統一化、効率化が図られ、また業者選定における透明性が向上した。
◇水道使用料と下水道使用料の納付書の一元化	▲442千円（郵便料）
◇敬老のつどいの見直し	・町主催の敬老会を廃止し、地区敬老会の充実を図った。▲261千円
◇旅費の見直し	・町内旅費の廃止と支給基準の改正　▲3,555千円 近隣市町村（盛岡市など）への出張の際の日当支給を従来と比較し半額を限度に支給。 4時間を越える場合1,100円、4時間以内は支給なし。
◇食糧費の見直し	・食糧費執行基準の策定　▲1,100千円
◇公用車の一元管理	・公用車の効率的活用
◇口座振替納付の拡充	・国営土地改良事業負担金の口座振替を実施

表2　組織・機構の見直し

◇機構改革	・18課1室を18課に再編 ・高齢化社会、環境問題、地域安全に係る部門の再編 ・行政サービス向上のため事務の整理統合(8業務32事務)
◇附属機関等への女性の登用	・平成12年までに委員の数を1割減らし（報酬▲110千円）女性の登用を30%目標に取り組む。 ※平成9年女性の比率 10.7%　平成10年 15.7% 委員の数　平成9年393人　平成10年305人
◇行政区の見直し	・人口急増地区を分割して再編 赤石2区を分割し18区を新設 日詰9区を分割し16区と17区を新設（日詰西地区）

目標の82%達成

これまで取り組んだ行政改革による費用効果は、**一億千七百九十三万七千円**になります（注：平成十一年度に係る補助金などの見直しを除く）。

当初の実施計画の進捗状況は三十四項目のうち二十八項目を実施することができました。（達成率八二パーセント）

これからの取り組み

これからも積極的に行政改革に取り組むとともに、新たな課題に取り組んでいきます。

また、今年度は、行政改革実施計画の最重要課題である情報公開条例と個人情報保護条例の制定を行います。公正の確保と透明性の向上を目指し、町政に関する情報提供を積極的に行い、開かれた町政を推進します。

今後も町民サービスの向上のため行政改革に取り組んでいきますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問い合せ
総務課事務改善係☎672-2111
内線317　有線01-8932

表3　定員管理および給与の適正化

◇業務見直しによる定数の減	・勤労青少年ホームの定数の減　▲2,285千円
◇超過勤務の削減	・ノー残業デーの設置と休日振替の活用の促進
◇臨時職員のパート化	▲800千円
◇特殊勤務手当の見直し	・自動車運転手当、ボイラー作業手当、勤労青少年ホーム勤務手当、浄化センター勤務手当の廃止

表4　効率的な行政運営と職員の能力開発

◇研修等の拡充	・職員の行政能力の向上　岩手県への派遣研修 ・専門研修機関への派遣研修

表5　行政の情報化の推進などによる行政サービスの向上

◇オンラインシステムの更新	
◇印鑑登録事務の電算化	
◇水道図面管理システムの導入	
◇インターネットによる情報発信	・ホームページアドレス http://www.town.shiwa.iwate.jp

表6　会館等公共施設の設置および管理運営の合理化

◇公園施設の管理委託	・桜町街区公園等の委託
◇公共施設の管理運営を委託する法人の設立	

表7　町単独補助金などの整理・合理化（金額の単位：千円）

項目	平成9年度		平成10年度		平成11年度（参考）		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
債務負担					1	8,566	1	8.566
事業補助金	7	25,619	10	2,865	28	8,313	45	36,797
組織補助金	10	6,061	21	8,831	45	4,205	76	19,217
その他（会議・研修負担金など）				258		658		916
計	17	31,680	31	11,954	74	21,742	122	65,496

表8　その他

◇町有地の活用　売却額20,750千円	◇宅地開発に係る届出事務の改善
◇修学援助申請事務の簡素化	◇勤労青少年ホームの施設開放
◇農業委員会の許認可事務に係る処理期間の短縮	◇中央保育所の施設開放

今号のトピックス2

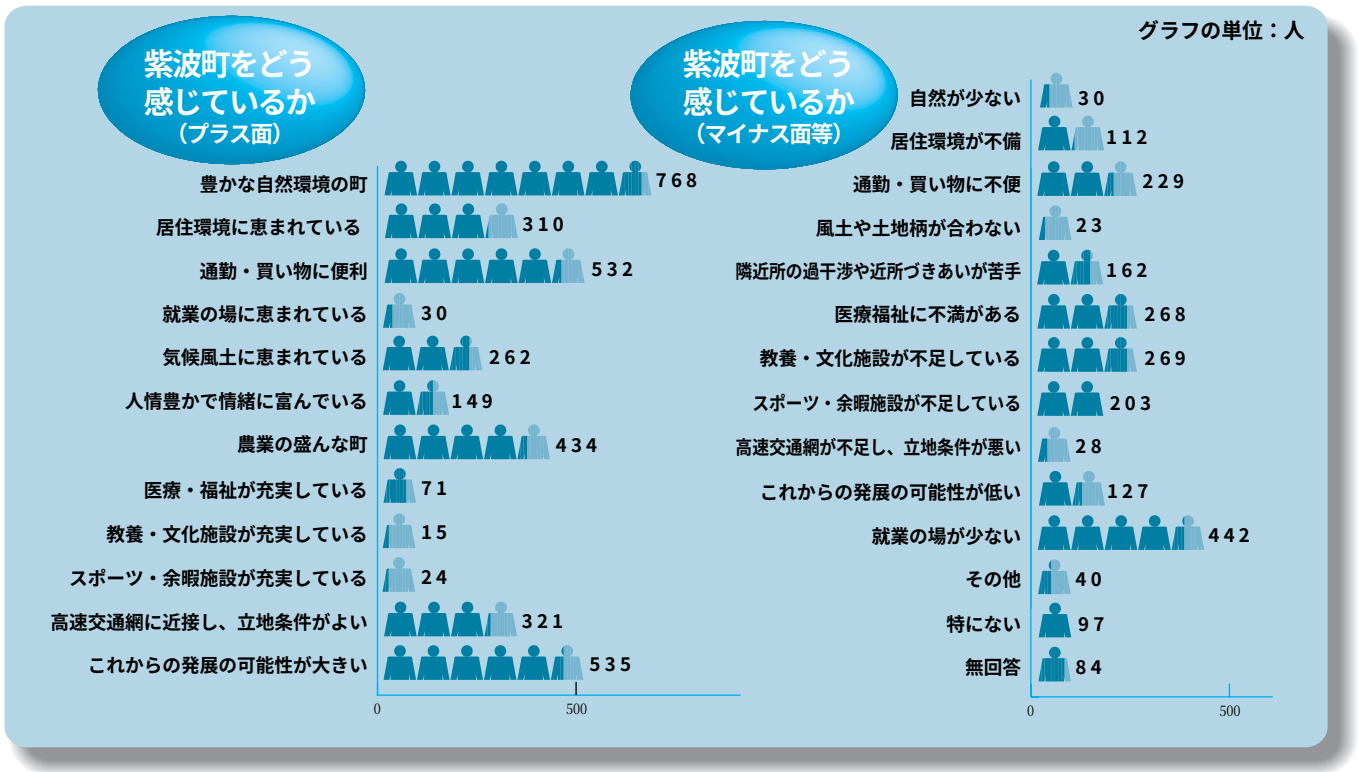
新しい紫波町総合発展計画 町民意識調査の中間報告

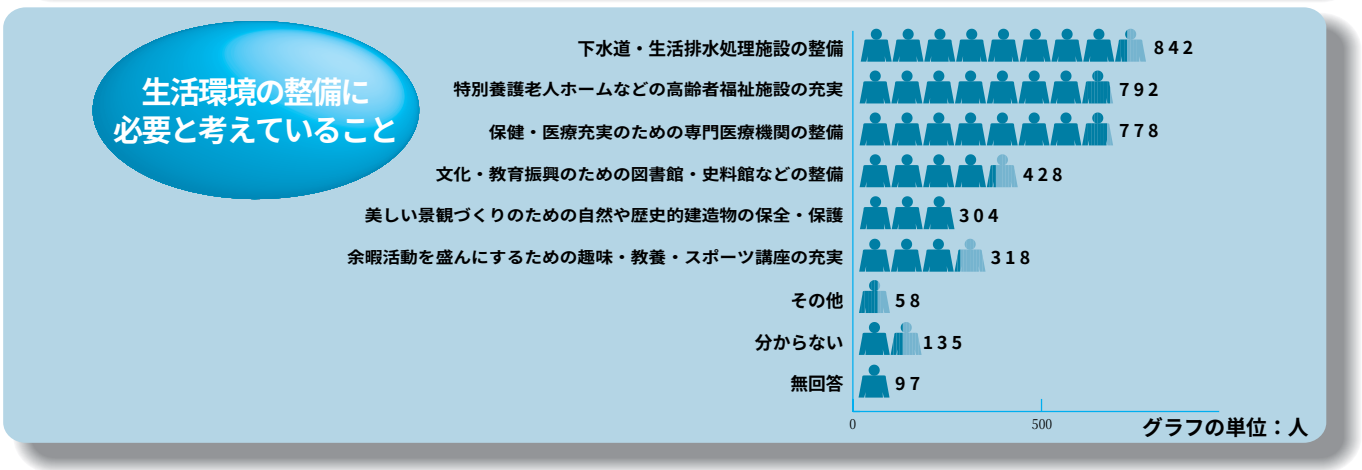
みなさんは紫波町をどう感じていますか？

町では平成13年度からの新しい町づくりの基本となる「基本構想」の策定作業を進めています。基本構想を作るにあたっては、できるだけ多くの町民の皆さんのご意見やご要望を反映させることを目的に「町民意識調査」を行いました。

調査は紫波町に住んでの印象から始まり、産業の振興、社会参加活動など５項目、15の設問に回答をいただきました。また町づくりについて自由に記述いただく、「個性と魅力ある紫波の町づくりを進めるための意見・提言」には985件のご意見・ご提言をいただきました。

町では今回の調査を次期基本構想に反映させ、町民と行政が一体になった町づくりの実現のため、今後も全力を傾けていきます。

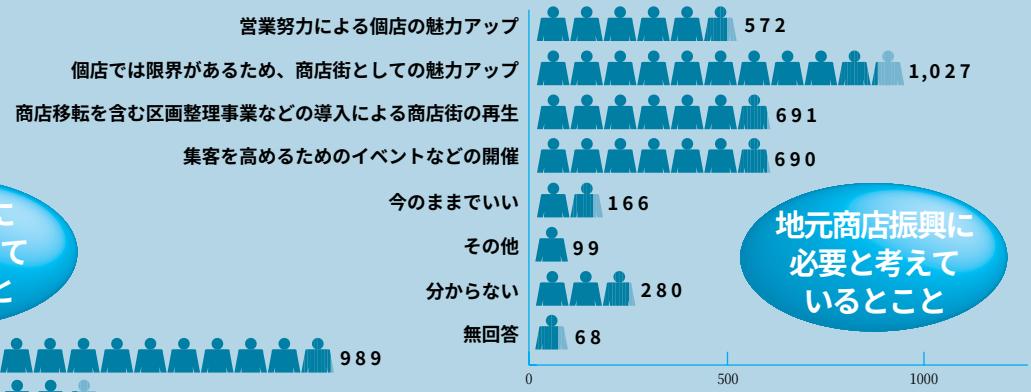




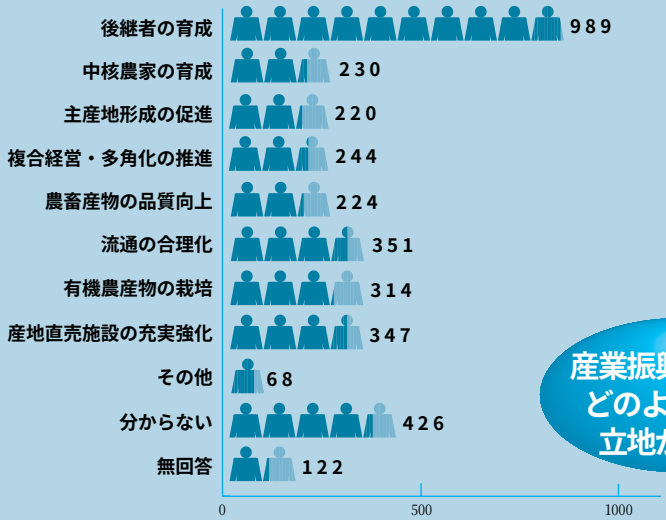
紫波町民の考えです。

グラフの単位：人

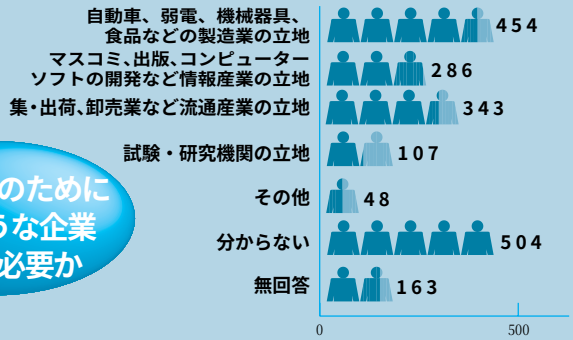
地元商店振興に必要と考えていること



農業振興に必要と考えていること

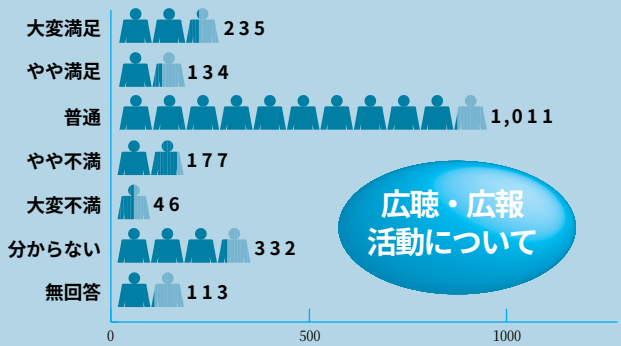


産業振興のためにどのような企業立地が必要か

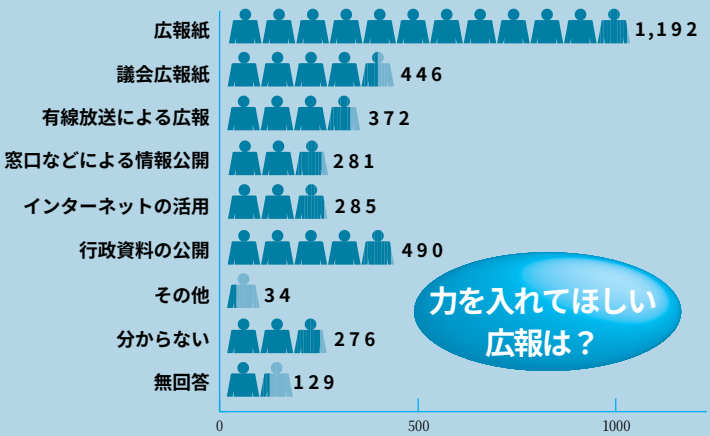


グラフの単位：人

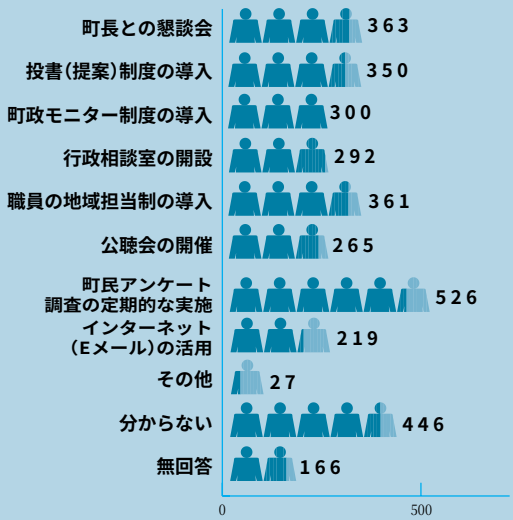
広聴・広報活動について



力を入れてほしい広報は？

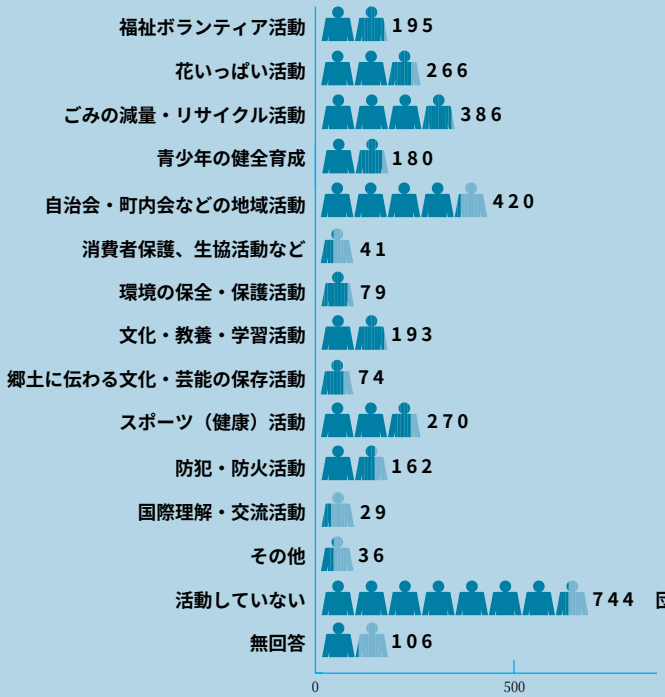


広聴活動への要望

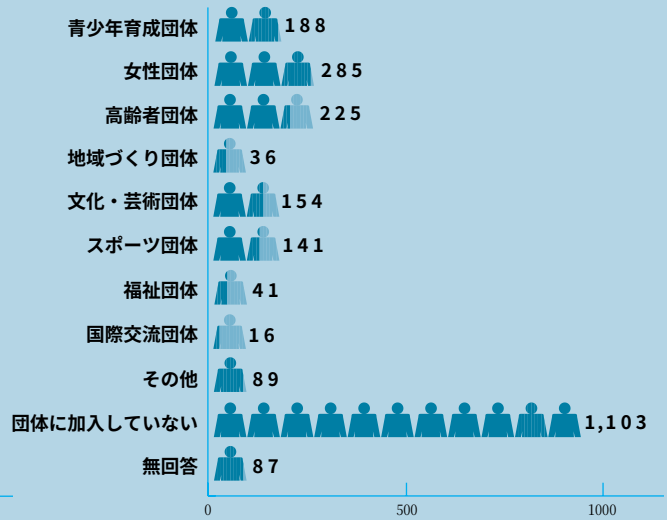


グラフの単位：人

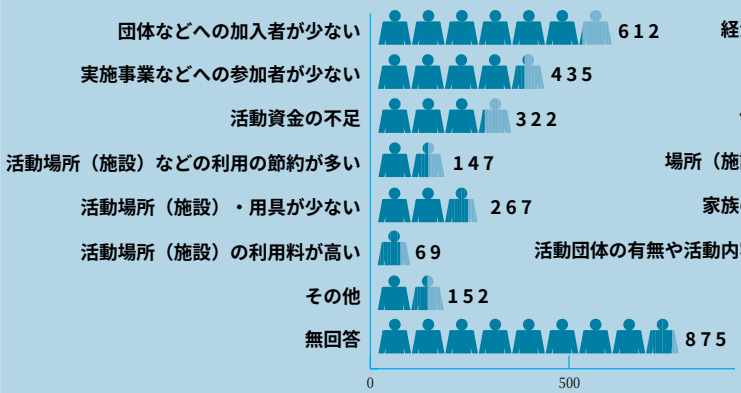
日頃活動している内容



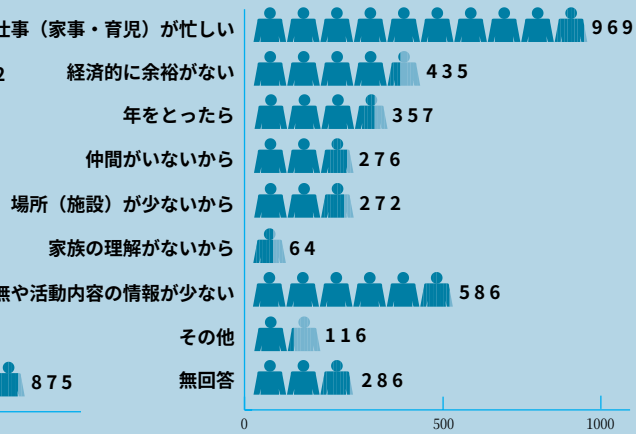
団体活動に加入しているか



活動にするための課題



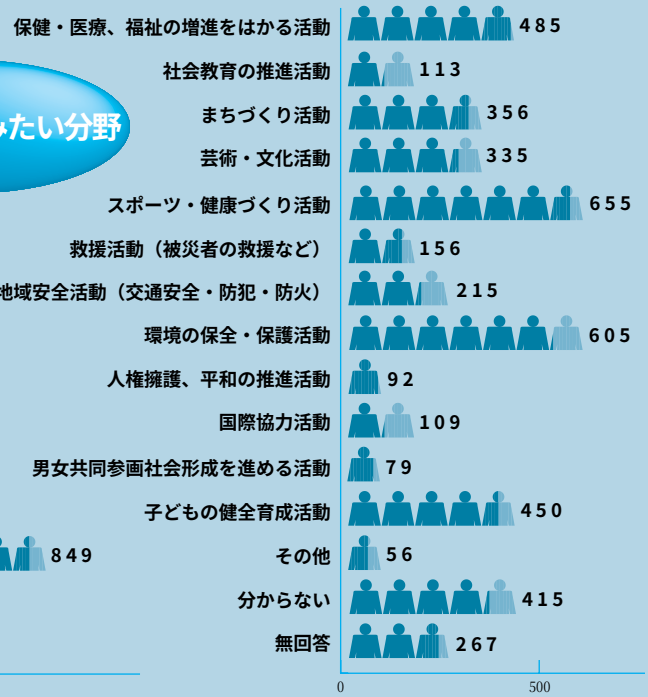
活動に参加するための課題



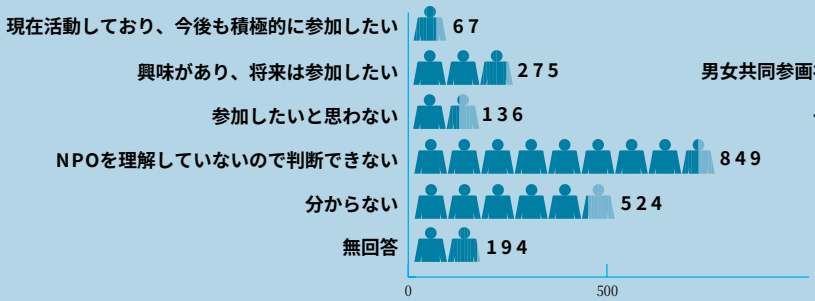
※この調査は、無作為に選んだ15歳以上の町民3,000人（全町民の約１割）に行政区長を通じて調査票を配布し、記入いただく方法で行い、2,115人の方から回答をいただきました。（平成11年３月実施）

紫波町民の考えです。

今後活動してみたい分野

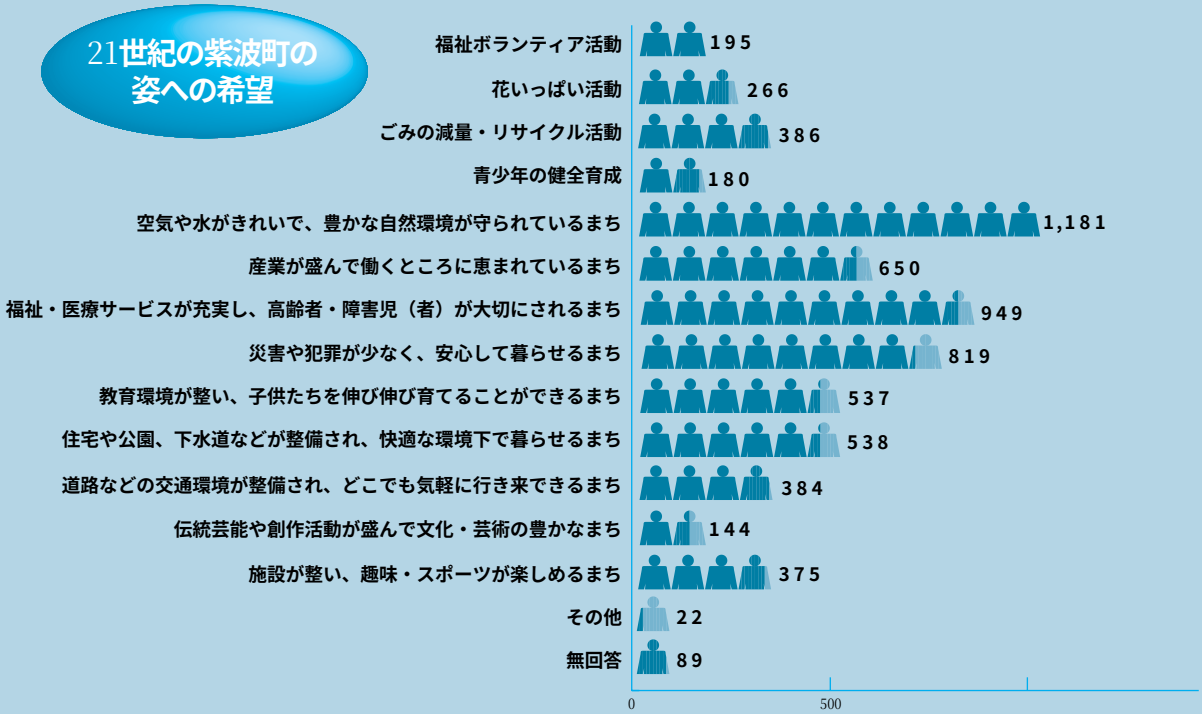


NPOへの参加



21世紀の紫波町の姿への希望

グラフの単位：人



今号のトピックス2 新しい紫波町総合発展計画 町民意識調査の中間報告

農業委員会だより

新・農業人に聞く

長澤聖浩（まさひろ）さん（大巻・21歳）

◆平成11年3月、岩手県立農業大学校研究科程卒業。現在、北上市の生物工学研究所で臨時職員として勤務しながら、水稲を中心に農業を行う。

麦も昔ながらの作り方で。「この小麦でパンを作ってみたいんですよ」

祖父と祖母の背中を見て

農業はずっと好きでしたね。大好きな祖父や祖母の農作業風景をずっと見てきたせいもあるんでしょうが。ですから農業大学校への進学も自然な成り行きでした。農大は僕にとっては楽しかったですね。農家出身者が多いんですが、そうじゃない人でも情熱家は多かったです。東京からも三、四人在籍しているぐらいですから、そりゃあまじめというか、熱意にあふれた人が多かったです。

ただそんな情熱家でも、土地になじむというのは難しいようでした。僕はここで生まれ育ってきましたから、近所づきあいも青年部の集まりも当たり前だと思うんですが、なかにはそうしたことが苦手で、岩手での就農をためらう人もいました。

地元の同級生でも農業を継ぎたくないという人は大勢います。僕なんかは変わり者扱いされますが、「好きだから」としか答えようがありませんし、農業の楽しみって収入だけじゃないと思うんです。

愛知県と三重県の酒造会社で出稼ぎ者懇談会

農業委員会では二月十六日から十八日まで、愛知県と三重県の二つの酒造会社で、町出身の皆さんとの交流懇談会を開催しました。これは出稼ぎ農業者の相談事業の一つで、会社側も同席し行われたもの。十四名の町出身者からは、良好な職場環境や、食事面・勤務時間面でも健康を気づかう会社側の配慮が報告され、元気に働いている様子がうかがえました。

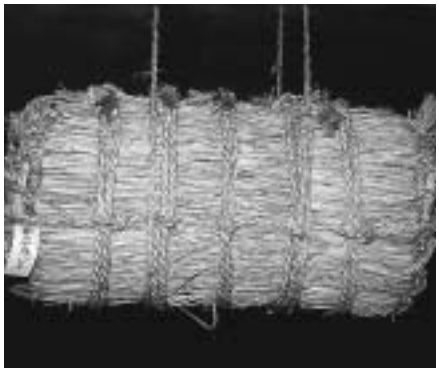
また三月三日には、役場会議室で出稼ぎ留守家族との懇談会を開きました。出稼ぎ先でのけがや病気などの話題も出ましたが、働く姿を写した写真・ビデオを使った報告に、「電話でも元気に話しているから」と安心した様子でした。

家族経営協定の実際例を分かりやすく説明

家族で楽しく農業に取り組むための「いきいきアグリセミナー」（三月二十六日）、「いきいきパートナーセミナー」（三月二十九日）が開催され、活発な話し合いが行われました。三名からの実践発表を中心に、農業を通しての生きがい、経営に参画することの意味、職業としての農業など現状を認識しながら、家族間でのルールづくりの重要性への理解を深めていました。

自らワープロ・カメラを操り、製本までこなした「農家の年中行事」

自分でみそ造りもチャレンジ。みそ玉づくりから始めたという凝りよう



かつてはどの農家でも作られた俵もいまでは貴重な技術に。これももちろん長沢さん製

農業の「楽しみ」は深く

（本をめくりながら）これは僕が九年間かけて祖父や祖母、周辺の人から聞き書きしたものをまとめたものです。実はまだ途中ですし、お見せするのは恥ずかしいんですが、今ではほとんど見られなくなった農家の風習を歳時記として集めたものです。一応「農家の年中行事」というタイトルは付けたんですが、僕が好きなのは本にすることではなく、それを調べたりする部分なんです。農家にあった行事というのは本当にいろいろあり、その意味もきちんとしている。高齢者なら誰でも分かることが、その次の世代にはほとんど受け継がれていないんですよね。

僕なんかも、バイテクなどの勉強をしてきたわけですが、実はこうした足下に本当の財産があるんじゃないかと思っています。よくグリーンツーリズムとかいわれますが、訪れた人にその地独自の文化を披露するというのは最高のもてなしじゃないでしょうか。この「年中行事」はほんの一端で、農業という世界には本当に魅力が詰まっていますね。

今年はいままで委託していた田んぼを一人でやってみたいと思っています。それと雑穀も作ってみたい。また「年中行事」の調査もまだまだ十年ぐらいはかかるでしょうから。え？　中学生時代からそんな調べものをするなんて変わり者ですか？　いいじゃないですか。みんな一緒じゃおもしろくありませんし、変わり者の一人や二人いても。（笑）

三年に一度の農業委員改選七月に統一選挙

今年は三年ごとの農業委員選挙が行われる年に当たり、会長からその意義などについてお聞きしました。

【農業委員選挙の意義について】

会長：七月の農業委員選挙は、全国の六割を超える市町村で行われる重要な選挙です。新たな「食料・農業・農村基本法」農政という、大きな変革期に実施されるものですから、その意味でも重要です。

【農業委員会の具体的な役割】

会長：役割としては優良農地の確保と有効利用、農業の担い手の育成と構造改革の推進が強く期待されています。成果が見えるような活動が必要なわけで、地域農業の再編に向けて、実践的な活動を強化していくことが重要と考えております。そのためにも率先して行動する人材が求められていると考えます。また女性の選出も期待したいですね。

すでに実践しているという人のなかには「農業者年金加入のためだけの協定ではなく、家族間の役割・権利を認め合うのが大事」という人もあり、五十人の参加者は、目を輝かせながら聞き入っていました。

結婚相談員が一年の締めくくりに研修交流会開催

三月三十日、一年間の活動の締めくくりとして結婚相談員の研修交流会を開きました。十年度も二十名の結婚相談員の積極的な活動により、定期的な情報交換や外国人花嫁の研究も行われ、最終的な紹介件数は百件を超えたことが報告されました。相談員からは「最後は本人同士の気持ち次第となるため、若者の積極性がほしい」という声も上がるなど、結婚離れが進むなかでの紹介の難しさも報告されていました。

紫波町農業委員会、優良情報活動団体として表彰

四月七日、東京都文京区「椿山荘」で開催された「平成十一年度全国情報会議」の席上、紫波町農業委員会は優良情報活動団体として表彰されました。

新聞普及部数の部で全国第九位、また普及率の部では第五位と全国十傑に入る活動が認められたもので、昨年に続き連続受賞となりました。

公民館だより

公民館でおすすめの教室一覧
（6～9月分）

春もたけなわ、活動を開始するには最高の季節になりました。
各地区の公民館では、今年もざまざまな教室を開催しますので、
個人、家族、グループなど、奮ってご参加ください。
なお、詳しい内容などについては各公民館にお問い合せください。

日詰公民館 ☎672-3372 Fax672-3372 有線01-8942

教　室	期　間	曜　日	時　間
まゆフラワー教室	6月～9月	第2・4土曜日	13：30～
古文書教室	6月～9月	第3土曜日	10：00～
世界の踊り教室	6月～9月	毎週月曜日	19：30～
園芸教室	6月～9月	第4金曜日	13：30～
ウォーキング教室	6月～9月	第1月曜日	9：00～
陶芸教室	6月～9月	第1・3土曜日	13：30～
山歩教室	6月～9月	不定期	
水彩画教室	6月～9月	第2・4水曜日	13：30～
民踊教室	6月～9月	第1木曜日 第3日曜日	19：00～ 13：00～
初心者ダーツ教室	6月～9月	第2・4火曜日	13：30～
高齢者ダンス教室	6月～9月	毎週木曜日	10：00～
初級レクダンス教室	6月～9月	毎週金曜日	19：30～
親子焼物教室	6月～9月	第4土曜日	13：30～
わんぱく学園	6月～9月	第2土曜日	13：30～

古館公民館 ☎676-2323 Fax676-2323 有線01-2102

教　室	期　間	曜　日	時　間
フレッシュコーラス教室	6月～9月	毎週火曜日	19：30～
シェイプアップダンス教室	6月～9月	第1・2・3木曜日	10：30～
書道（昼）教室	6月～9月	第1・3火曜日	13：30～
書道（夜）教室	6月～9月	第1・3金曜日	19：30～
押し花教室	6月～9月	第2土曜日	13：30～
陶芸教室	6月～9月	毎週土曜日	13：30～
新舞踊教室	6月～9月	毎週火曜日	10：00～
健康体操（練功）教室	6月～9月	毎週金曜日	10：30～
カラオケ教室	6月～9月	第1・3木曜日	19：00～
詩吟教室	6月～9月	第2・3・4月曜日	19：00～
吟舞教室	6月～9月	第1・2土曜日	19：00～
国際情勢を聞く教室	6月～8月	第2金曜日	10：00～
歴史を知る教室	6月～8月	第2火曜日	13：30～
チビッコ絵画教室	6月～9月	第1・3木曜日	15：00～
大正琴（琴伝流）教室	6月～9月	第1・3火曜日	10：00～

水分公民館 ☎673-8222 Fax673-8222 有線02-3524

教　室	期　間	曜　日	時　間
洋裁教室	6月～9月	第2・4水曜日	9：30～
和服着付教室	6月～9月	第2・4月曜日	9：30～
コールあづまね（コーラス）	6月～9月	第2火曜日・第4土曜日	19：30～
水中健康教室	6月～9月	第2・4木曜日	14：00～
陶芸教室	6月～9月	第2・4金曜日	13：30～
水泳教室	6月～9月	第1・3金曜日	19：00～
書道教室	6月～9月	第1・3月曜日	19：30～

志和公民館 ☎673-7111 Fax673-8384 有線03-5223

教　室	期　間	曜　日	時　間
洋裁教室	6月～9月	第4土曜日	9：30～
川柳教室	6月～9月	第4土曜日	9：30～
コーラス教室	8月～	毎週木曜日	20：00～
ご祝唄教室	6月～9月	第2金曜日	19：00～
押し花教室	6月～9月	第4火曜日	9：30～
高齢者写真教室	6月～9月	年6回	9：00～

赤石公民館 ☎676-3999 Fax676-3999 有線04-6161

教　室	期　間	曜　日	時　間
木彫り教室	6月～9月	第3土曜日	9：00～
生け花教室	6月～9月	第1金曜日	10：00～
ダンス教室	6月～9月	毎週金曜日	19：00～
着付教室	6月～9月	毎週火曜日	19：00～

彦部公民館 ☎676-4670 Fax676-4670 有線01-6698

教　室	期　間	曜　日	時　間
日本画教室	6月～9月	第3月曜日	9：30～
生け花教室	6月～9月	第4木曜日	11：00～
陶芸教室	6月～9月	第2・4火曜日	13：30～
表具教室	6月～9月	第2・4水曜日	10：00～
健康体操教室	6月～9月	第2・4木曜日	14：00～
カラオケ教室	6月～9月	第3水曜日	19：00～

中央公民館 ☎672-3372 Fax672-3372 有線01-2922

教　室	期　間	曜　日	時　間
織物教室	6月12日～	土曜日10回	13：30～
中国語講座	6月14日～	毎週月曜日	19：00～
パソコン教室（初心者編）	6月28日～7月2日	5回	18：30～
英会話講座（初級）	6月29日～	毎週火曜日	19：30～
近代文学講座「宮澤賢治を語る」	6月29日～9月	4回	10：00～
しわボランティアスクールⅧ	6月29日～10月	5回	10：00～
紫波平成大学	6月29日～11月26日		10：00～

佐比内公民館

☎674-2626　Fax674-2626　有線05-7337

教　室	期　間	曜　日	時　間
竹細工教室	6月～9月	毎週木曜日	13：30～
レザークラフト（昼）教室	6月～9月	第2・4月曜日	13：30～
レザークラフト（夜）教室	6月～9月	第1・3月曜日	19：30～
草木染教室	6月～9月	月1回平日	9：30～
歴史を知る教室	6月～9月	月1回平日	13：30～
親子太鼓教室	6月～8月	6回	19：30～
レディース太鼓教室	6月～8月	6回	19：30～
シルバー太鼓教室	6月～8月	6回	15：30～
書道教室	6月～9月	第1・2火曜日	19：30～
民謡教室	6月～9月	月1回平日	19：30～

赤沢公民館

☎676-3036　Fax676-3036　有線06-7952

教　室	期　間	曜　日	時　間
書　道　教　室	6月～9月	第1・3水曜日	19：00～
歌　謡　教　室	6月～9月	第4水曜日	19：00～
園　芸　教　室	6月～9月	月1回	9：30～
表　具　教　室	6月～9月	月1回	9：30～

長岡公民館

☎676-3789　Fax676-3789　有線07-8226

教　室	期　間	曜　日	時　間
チビッコ民謡教室	6月～9月	第2・4火曜日	19：00～
チビッコ踊り教室	6月～9月	第1・3土曜日	18：30～
詩吟教室	6月～9月	第2土曜日	14：00～
大正琴教室	6月～9月	毎月10日・20日	19：00～
和裁教室	6月～9月	毎週水曜日	19：00～
パッチワーク教室	6月～9月	第2・4金曜日	19：30～
組紐教室	6月～9月	毎週木曜日	9：00～

達人拝見

いまや町の名物的食事どころとして知られている国道4号沿いの「はらぺこ」。社長の玉山清悦さんの混じりけのない十割そばを機械で打つという発想にも驚かされますが、九州から北海道までの八十店舗のフランチャイズ展開を一気に二百店までのばす計画にも驚かされました。

今回の達人：玉山清悦さん

「事務屋になったら店はだめになってしまいます。現場に出て自分自身で仕事を大事にしている間は大丈夫です」という「はらぺこ」店主兼「株式会社十割そば」社長。東京に行くときもスーツは身につけず普段着のまま。「田舎者には田舎者のやり方があるんです」

「そばがうまいとかまずいとか、そんなことはいいんですよ」

これほど評判のそばを作り出した本人とは思えない言葉から、玉山さんの話ははじまりました。「私がやっているのはいわば『運動』なんです。バブルの時期にみんな自分さえよければという考えがまん延していたでしょう。そうじゃない、自分が生きている社会や従業員、そしてそば産地でありながら過疎化が進む中山間地域へ還元していかなきゃいけないんです。自分自身はもうからなくてもいい。まあまあな暮らしができればいいじゃないですか。それよりも大事なのは『自分が何をやっているのか、自分が生きている価値とは何なのか』ということですよね」

自らが石鳥谷の農家出身ということもあるため、農業には人一倍思い入れがあるそうです。「いま私たちが食べている加工品というのはほとんど田や畑のものばかりですよね。例えばギョウザにも野菜は必要ですし、おにぎりもそう。これからは農産物を作るだけでなく、加工品という新しい農業を考えなきゃいけないでしょうね。そして環境や健康面も重要でしょう。そうした意味では開発が立ち後れたように見える岩手県というのは、これから一番注目が集まる県になるはずです」

これから福岡、札幌、東京、大阪と展示会をし、「運動」に参加してくれる人たちを捜す旅に出る玉山さん。「私は技術だけじゃない、岩手の自然を売り込んでいるんです」という言葉が印象的でした。

国道４号沿いの店舗

我がサークル・ただいま奮闘中！

紫波町民バンド

10年以上「いつかはみんなでやろう」と
温められていたサークルが３月に始まりました。
それがいま話題の町民バンドです。

――「本当にメンバーが集まってくるだろうか」とスタッフは内心、心配していました――

創刊号となる紫波町民バンドの会報の書き出しはこんな風に始まっています。

「いや、本当に意外でしたよ」と語ったくれたのは会長の阿部敏博さん。わずか広報の一回きりのお知らせで三十三名もの参加申し込みにスタッフは心から喜んだそうです。

紫波町民バンドの構想はいまから十年以上前の昭和六十三年。日詰小学校の「父母の会」がスタートでした。――子どもたちも卒業し、将来はどこか離れた場所で暮らすかもしれない。けれど帰ってきたとき、何か参加できるようなサークルでもあれば――そう考えた阿部さんたちが温め続け、今回実現の運びとなったのです。

「とにかくバラエティ豊かなんです」とメンバーについて語る阿部さん。高校生から五十代までと幅広いだけでなく、プロ級というフルート奏者から楽器経験がない人までさまざまです。でもなぜ楽器経験がないひとが？　「裏方でもいいといって参加してくれたんですが、基本的にみんな音楽が好きなんですよ。ですから音楽のジャンルも特に決めていません。指導してくださる笹田先生に練習曲を決めてもらっているんですが、とにかく一緒に音をだしていくのが楽しいんですよ。大会に出ようとかそうしたことは二の次。まあレベルが上がったらそのうちに出るかもしれませんが」

現在指導は月に二回。それ以外に毎週木曜日の七時から九時まで自由練習という形で集まっています。「私たちは会が軌道に乗ったら裏方に徹しようと思っているんです。この会は私たちが楽しむためだけではない。次世代の人たちが楽しんでくれる会にしたいんです。」

バンドが結成されると楽器の寄贈や、自分の楽器を提供してくれるメンバーが続出し、温かい輪が広がりつつあるそうです。ところで何か目標とかはないのでしょうか。「まだ正式に決めたわけではないんですが、七月末に行われる日詰夜市に出てみようかという話はメンバー内から出ていますね」

もしかすると腕前のお披露目も近いかもしれません。

「紫波町民バンド」への入会方法
制限などはいっさいなし。月会費は500円。木曜の練習の見学も可。入会希望者は事務局の中央公民館☎672-3372　有線01-2922へ。

音出しのときはみんな真剣です

会長の阿部敏博さん。パートはギターとのこと

４月22日に行われた練習に参加したメンバー。明るく楽しい練習が行われています

「何かしなきゃいけない」ではなく「何もしない」からスタートしたサークル

～サークル「たまごひろば」を訪ねて～

サークル活動は生活への潤いになる反面、育児をしているおかあさんにとっては「時間を作る」という難しい問題もあります。今回訪ねた「たまごひろば」はそうした「制約」をできる限り少なくし、自然体で楽しめるサークルでした。

お別れのときには円陣をくみ歌でさようなら。

楽しい昼ご飯

あつまれ おかあさん

五月六日、紫波中央駅付近の公園に集まったメンバーの皆さん。子どもたちが遊ぶ間に、世話人の水本千恵子さんにお話をうかがいました。育児でちょっと暗い日々を送っているおかあさんのヒントになるのでは？

――サークル結成のきっかけを教えてください。

水本　「もともとは古館でお話し会や育児ボランティアをしている『ひよこひろば』で知り合った人たちが中心です。ただ、『ひよこひろば』はあまりの人気で多くの人が集まるため、せっかく参加しても話し足りなかったりとかあって、もう一つの集まりを作ってみたかったんです。そして昨年秋に始めたんですが、三月で子どもたちが幼稚園や保育園に通うことになったりで、少しメンバーも入れ替わりました」

――実際にはどんなことをしているんですか。

水本　「いえ、特には（笑）。こうやって集まってお弁当を食べながら、子どもたちは遊んで、おかあさんたちは話をしてというだけですね。メンバーが固まったらそのうち何かはするかもしれませんが――私自身育児でどんどん暗い方向に行った時期があるんです。でも外に出て、みんなと話をするようになったらそれだけで変わってくるんですよね。実はこのメンバーで集まるのが今回二回目ということもあり、いまはまだ予定はありません」

――おかあさんたちの話というのは相談とかですか。

水本　「最初は雑談ですね。テーマとか決めてしまうとみんな構えるじゃないですか。せいぜい決めごとというと、メンバーを『○○ちゃんのおかあさん』ではなく名前で呼ぶようにしていることぐらいですかね。」

――名前で呼び合うのはどういう理由でしょう

水本　「私だけでなくたぶんみんな感じていると思うんですが、単なる知り合いではない、友達でもない仲間のような気がするんです。いわば『同志』とでもいうような。遠くの親戚より近くの他人とよくいいますが、メンバーのほとんどが新しく紫波町にきた人なんですよ。当然周りには知り合いもいませんし。だから電話とかでよく話したりしますね」

ただ話しているだけで気分が変わってくる――これは子育てに限らず、だれでもあることです。このページはおかあさんたちのためのページです。情報、疑問などありましたら、どんどん「紫波ネット」へご連絡ください。

「たまごひろば」参加方法

「たまごひろば」は、制約を作らず自由に集まって情報交換をするサークルです。現在会員を募集していますので興味がある、参加したいという人は次の連絡先へ問い合わせてください。

古館公民館
☎676－2323　有線01－2102

古沢隆男さん（北田）に聞く

園芸店では手に入らない ネムノキを庭木として育てる

福祉の象徴として知られるネムノキですが、意外にも園芸店ではなかなか手に入りません。古沢さんはそうした手に入りにくい種類の苗木を赤沢の産直に出している人です。

「産直に出しているほかに友人にも分けたりしていますが、場所を選んで植えた方がいいでしょうね」と古沢さん。栽培が難しい木なのでしょうか。「いや、もともとが川沿いや原野で育つ木ですから、丈夫であるとは思うんです。ただとても大きくなりますので、後々を考えた方がいいでしょうね」

確かにあちこちで見るネムノキは六〜十メートルもの樹高になり、幹周りも巨大です。でも初夏に野を彩る糸のようなピンクの花は、やさしげで魅力にあふれています。「長年育てているわけではないので」と古沢さんは注釈をつけながら「新芽をつける前にせん定してあげれば好みの樹形にできるでしょう。それと最初に注意したいのは水ですね。根をつけるためにたっぷり水をあげた方がいいようです。根さえついてしまえば、冬もそのままにしておいても充分育ってくれますよ」と教えてくれました。

残念ながらいまはまだ一本の細い幹だけのネムノキ。大きくなれば写真のようにかわいい花を付けてくれるでしょう

【ネムノキ】 マメ科、落葉高木樹

《ポイント》
- 根がつくまでは水やりをかかさないように
- 幹が大きくなるので地植えする場合は場所をよく選んで

《花期》
- 6〜7月。ちなみに花に見えるのは雄しべの一部で花糸とよばれるもの。

四季華々しく

チャレンジ・キッチンガーデン
Challenge Kitchen Garden

梅澤完一さん（赤沢）に聞く

ミニトマトの上手な育て方

園芸店にも野菜の苗がいろいろ出回る季節になってきました。そのなかでもポピュラーなのがミニトマト。梅澤さんに収穫を増やす方法を聞いてみました。

「普通のトマトと育て方は変わらないんです」といとも簡単に話す梅澤さん。でも実の着きが悪かったり、割れてしまったりという失敗例も多く聞きます。「ポイントは脇芽を摘むことと肥料でしょうね」。脇芽とは本茎の葉の根本から出てくる芽のこと。これを成長させると養分が分散するので、早めに摘み取ることが大事だそうです。もう一つ大事なのが肥料。一カ月に一〜二度、固形の野菜用肥料を与えるとよいとのこと。

ちなみにミニトマトは連作できませんから、毎年楽しみたい場合は土を変える必要があります。またプランターで育てる場合は、深く大きな物が丈夫に育つそうです。

【ミニトマト】 ナス科、1年草

《ポイント》
- 日当たりがよく、花房は日の当たる方向に
- 大きくなると倒れやすくなるので支柱を

《利用法》
- サラダやスープに。もし大量に作った場合には、ジューサーで作る生ジュースがおすすめ。普通のトマトよりも一段とフルーティーな味が楽しめます

紫波町“安心のシンボル・キャッチフレーズ”募集

町では、安心な町・紫波町を象徴するシンボルやキャッチフレーズを募集しています。これは町民相互の連帯を強め、自主防犯意識を高揚させることにより、安全で住みよい町づくりを住民自身の手で創造してもらおうと行うものです。

▶募集期間　７月11日（日）まで

▶応募資格　町に住んでいるか町内に勤務している人

▶募集内容　「安全で住みよい紫波町」をイメージするシンボルマークおよびキャッチフレーズを各１点

▶応募　１人各１点ずつで、「シンボルマーク」はA4判サイズの白上質紙に、「キャッチフレーズ」は官製はがきに横書きで。いずれも裏面に住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記載し、下記に郵送か直接持参。

▶申込み・問合せ　生活環境課「紫波町“安全のシンボル・キャッチフレーズ”」募集係（消防安全係）　☎672-2111　内線153、154　有線01-8901

FAXで法務省の登記インフォメーションサービス

法務省では24時間ファックスで登記に関する情報を入手できる登記インフォメーションサービスを行っています。これは登記所の管轄や不動産登記手続き、商業登記手続きに関する情報を音声ガイダンスに従い操作し簡単に情報を受けられるものです。

▶ファックス番号　fax606-0230

通訳できる人へ――警察活動にご協力ください

岩手県警察では、外国人からの事情聴取、在県する外国人の安全対策などの警察活動に協力する通訳者を募集しています。英語を除く、特にスペイン語、中国語をはじめとしたアジア地域の通訳ができる人を中心に募集しています。

県内在住で通訳を職業としている人や長年外国語を勉強している人、在外経験をもっている人など、警察からの通訳依頼に協力できる人は、下記まで連絡をお願いします。なお詳しい内容についての問い合わせも同時に受け付けています。

▶申込み・問合せ

紫波警察署　生活安全課　☎676-3341（内線332）　有線01-8901

岩手県警察本部　刑事部捜査第一課　国際・組織犯罪対策室

盛岡市内丸８番10号　☎653-0110（内線5263）

岩手県立農業大学校研修科農業専門研修を開催

岩手県立農業大学校では、実際の農業に役立つものとして、農業者専門研修（技術経営）を開催しています。

▶研修科目および講師　「農村起業化論」（講師　NBN代表　久木田禎一氏）、「農業企業経営」（講師　菊池戦略経営相談室長　菊池宏氏）

▶受講者資格　誰でも参加可能。２講座すべてまたは１講座の一部でも受講できます。

▶受講料　無料。ただし、資料代、お茶代として１回300円必要

▶受講申込　受講者定員は25名。先着順で、定員になり次第締め切ります。

▶申込・問合せ　岩手県立農業大学校研修科　☎0197-43-2211　担当：菊池美喜子、上野昭成

研修スケジュール

農村起業化論

◆６月２日（水、8：50～12：00）
アグリビジネス論II
アグリビジネスの事例

◆６月16日（水、8：50～12：00）
アグリビジネス論III
岩手におけるアグリビジネスの可能性

◆７月２日（水、8：50～12：00）
ビジネスプラン論I
ビジネスプランの作り方

◆７月21日（水、8：50～12：00）
ビジネスプラン論II
ビジネスプランの実践

農業企業経営

◆５月21日（金、8：50～12：00）
財務諸表のしくみ

◆５月28日（金、8：50～12：00）
収益性、活動性分析

◆６月11日（金、8：50～12：00）
安全性、生産性分析

◆６月18日（金、8：50～12：00）
実存企業の経営分析

◆７月２日（金、8：50～12：00）
収益計画のたて方

◆７月16日（金、8：50～12：00）
長期経営計画のたて方

中高年齢者のための職業生活設計セミナー

盛岡人材銀行では、定年退職予定者や在職中の中高年齢者への再就職、職業生活設計のための情報提供・相談援助のセミナーを開催します。受講は無料です。

▶問合せ　盛岡人材銀行　☎653-3257

セミナー開催スケジュール（時間はいずれも午後一時三十分から四時まで）

５月21日（金）	雇用保険給付、厚生年金、医療保険給付
６月25日（金）	生涯生活設計
７月16日（金）	高齢者の健康管理
９月17日（金）	雇用保険給付、厚生年金、医療保険給付
10月15日（金）	高齢者の福祉と介護
11月19日（金）	生涯生活設計
12月17日（金）	高齢者の健康管理
１月21日（金）	生涯経済プラン、年金と税金
２月18日（金）	雇用保険給付、厚生年金、医療保険給付
３月17日（金）	定年退職・再就職の手続き、再就職と資格取得

情報掲示板

平成11年度地域安全運動 ポスター・標語の募集

(社)岩手県防犯協会連合会・岩手県警察本部・(財)岩手県暴力団追放県民会議では平成11年度の地域安全運動のポスターと標語を募集しています。

▶課題　**ポスターの部：**❶自転車盗難防止　❷少年非行防止・薬物乱用防止　❸暴力追放　❹その他（ひったくりにご用心・銃器根絶・悪質商法対策など）

標語の部：❶自転車盗難防止　❷少年非行防止・薬物乱用防止　❸暴力追放（※❶自転車盗難防止は岩手県独自の課題です。ほかは全国募集の課題と同じです）

▶応募規定　**ポスターの部：**●未発表の作品であること　●作品にスローガン（キャッチコピー）の文字が入らないこと　●作品の裏面に、住所、氏名、年齢、職業または学校名を明記すること

標語の部：●未発表の作品であること　●郵便はがきかはがき大のものに縦書きで　●作品には、住所、氏名、年齢、職業または学校名を明記すること　●応募は一人５点まで１枚の用紙に記入（学校の場合は適宜まとめてください）

▶締切　６月23日（水）

▶応募先・問合せ　〒028-3390日詰字西裏23-1　生活環境課　消防安全係　☎672-2111　内線153　有線01-8901

第16回東根山登山 参加者募集

第16回を数える東根山登山への参加者を募集しています。今回は抽選でラ・フランス温泉館の入場券が当たるお楽しみ企画も用意されています。

▶日時　６月12日（土）、8：30集合、9：00出発。小雨決行

▶参加料　一人200円

▶申込締切　６月７日（月）

▶集合場所　ラ・フランス温泉館（公園駐車場）

▶コース　温泉館から東根山頂まで往復７km（頂上までの所要時間２時間30分）

▶注意事項　●持ち物：昼食・雨具・帽子・軍手・着替え　●参加資格健康な方（家族・グループ大歓迎、ただし小学生低学年は父兄同伴）

▶申込み･問合せ　水分公民館　☎673-8222　有線02-3524　中央公民館　☎672-3372　有線01-2922

大腸がん検診の申込は お早めにどうぞ

５月24日～６月29日まで町内全地区で大腸がん検診を行います。詳しい日程は５月広報カレンダーをご覧ください。

▶対象　40歳以上の人

▶申込先　長寿健康課　☎672-2111　内線6124　有線01-8974

地域活性化アドバイザー 支援事業のご案内

県では、中小企業への支援として具体的、実践的に指導する地域活性化アドバイザーを企業に派遣しています。ISOの認証取得など企業単独では解決が難しい諸問題、専門的知識を必要とする技術の向上など、さまざまな経営課題への対応を支援するため、各分野の専門家を直接企業に派遣するものです。

▶支援対象者　県内に工場、商店などの事業所をもち、以下のいずれかに該当する中小企業

●ISO9000シリーズ等の認証取得を行おうとする中小企業者（ISO14001、HACCPの認証取得も該当）

●経済の構造変化に対応し、経営の改善を図ろうとする者

●創業期における諸問題の解決を図ろうとする者

●その他経営力並びに技術力の総合的な向上を図ろうとする者

▶申込期限　５月28日（金）

▶申込み・問合せ　県商工労働観光部経営金融課　工業診断班（似内）、商業診断班（小野寺）　〒020-8570盛岡市内丸10-1　☎651-3111　内線2925、2924　Fax623-5178

平成十年度の農業機械士が認定

岩手県農業機械士認定要項（昭和58年４月15日制定）第７の規定により次の皆さんが農業機械士として認定されました。農業機械士は農業機械の適正導入、効率利用および農作業安全などについて、先導的な立場で実践する人を認定したものです。（敬称略）

氏　名	生年月日	住　所	職　業	種別
漆沢　勝也	昭和53年７月16日生	片寄字寺田5番地2	農大生	二級
阿部香菜子	昭和53年５月16日生	北田字大地田26番地	農大生	二級
横沢　大樹	昭和53年12月14日生	桜町字下川原73	農大生	二級
根子　　匡	昭和53年７月13日生	二日町字田中前23番地	農大生	二級
谷地舘　満	昭和53年７月28日生	宮手字谷地舘18番地	農大生	二級
吉田　貴浩	昭和53年９月29日生	赤沢字下岡田29番地1	農大生	二級

地域・家庭・学校が一体となって

紫波町中高生社会参加活動を推進

6月5日「コミュニティの日」会場

紫波一中学区

◆日詰地区……中央公民館
◆古館地区
　上町地区（1、2、9、10区）……上町公民館
　下町地区（3、4、18区）……下町公民館
　十日市地区（5、6区）……十日市公民館
　十日市地区（13区）……中田集会所
　十日市地区（14区）……古館公民館
　中陣地区（7、8区）……中陣公民館
　前郷地区（11区）……前郷公民館
　前郷地区（12区）……古館公民館
　桜田地区（15、16、17区）……桜田公民館
◆赤石地区……各自治公民館

紫波二中学区

◆彦部地区……彦部公民館
◆星山地区……星山小学校
◆佐比内地区……佐比内公民館
◆赤沢地区……赤沢公民館
◆長岡地区……長岡公民館

紫波三中学区

◆水分地区……水分公民館
◆上平沢地区・片寄地区……志和公民館

中高生社会参加活動も今年で16年目を迎えました。社会参加活動は地域の皆さんや文化、自然などとのふれあいをとおし、地域社会の一員としてより健全な中高生を育てようというものです。各地区一体となり、時代のニーズに応える青少年の体験学習の場を創っていきましょう。そして地域のみんなで力を合わせ、よき伝統を築き上げましょう。

6月5日（土）、午後2：00から は中学生の皆さんの活動日

6月5日の2:00からは中学生の皆さんの活動日になります。あらかじめ自主活動（年3回以上）を考えて参加しましょう。（左表）

ご父兄の皆さんへ 各地区で育成会研修会が開催されます

6月5日の「コミュニティの日」の前に、社会参加活動の協力者である指導者、世話人の育成会研修会が開催されますので、選ばれた皆さんは各地区の研修会に参加してください。

▶問合せ先　**町教育委員会社会教育課**☎672-2111　**内線**6226　**有線**01-8941

指導者、世話人の育成会研修会

対　象	日　時	会　場
紫波一中学区（古館）	5月17日（月）	古館公民館
紫波一中学区（赤石）	5月18日（火）	赤石公民館
紫波一中学区（日詰）	5月19日（水）	中央公民館
紫波二中学区（長岡のぞき）	5月20日（木）	彦部公民館
紫波二中学区（長岡）	5月21日（金）	長岡公民館
紫波三中学区	5月22日（土）	志和公民館

子どもたちに諸外国の青少年との交流を　～平成11年度夏期海外派遣事業募集～

中学生・高校生のための事業	青少年アメリカ国際交流キャンプ＆ホームステイ	中1～高3	35人
	青少年オーストラリア研修	中2～高3	30人
	青少年シンガポール研修	中2～高3	20人
	青少年カナダボランティア交流	中2～高3	18人
	イギリス語学研修	中2～高3	28人
	カナダ生活体験＆英会話研修	中2～高3	20人
	アメリカ・ボストン語学研修	中2～高3	20人
	オーストラリア生活体験＆学校訪問	中2～高3	15人
小学生から参加できる事業	青少年カナダキャンプ	小5～高3	22人
	サイパン南の島生活体験ホームステイ	小5～中3	25人
	オーストラリア生活体験ホームステイ	小5～中1	15人
	アメリカインディアンキャンプ＆ホームステイ	小5～高3	20人
	オーストラリアエアーズロックへの旅	小5～高3	25人

（財）国際青少年研修協会では、平成11年度の夏期海外派遣事業に参加希望の小・中・高校生を募集しています。この派遣事業は、諸外国の青少年との共同生活や共通体験を目的としたキャンプや学校生活、交流事業、家庭滞在を行うもので、民族・文化・言語などを乗り越えた共感を学ぶものです。なお、観光旅行ではありませんので、選考された場合には必ず参加となりますので、事前によく確認した上、応募してください。

▶申込先　**（財）国際青少年研修協会**
〒160-0004 **東京都新宿区四谷**2-11**大村ビル**3**階**
☎03-3359-8421
FAX03-3354-2207

情報掲示板

善意の窓

◆町立上平沢小学校平成10年度第123回校卒業生の保護者代表小野昭夫さんは、校舎図画木製パネル1枚（12,000円相当）を町立上平沢小学校に

◆平成10年度町立日詰小学校卒業生は、紅白幕2張（100,000円相当）を町立日詰小学校に

お詫びと訂正

広報紫波4月号において22ページの「まちのぶんげい」の短歌に誤りがありました。

稲藤　細田まことさんの作品は

親戚に病気に臥ゐる人あれば
話鳴るたびこころの騒ぐ

ではなく

親戚に病気に臥ゐる人あれば
電話鳴るたびこころの騒ぐ

が正しい短歌でした。

訂正しおわび申し上げます。

総務庁長官から委嘱の行政相談委員に花篭陽太郎さん

４月１日付で、行政相談委員に花篭陽太郎さん（彦部字竹原133-4、☎674-2537）が総務庁長官から委嘱されました。（委嘱期間：平成13年３月31日まで）

行政相談委員は、役所や公団などが行っている仕事についての苦情や意見を受けて、その解決を促進するとともに、皆さんの声を行政運営の改善に役立てる仕事をします。

国の役所の仕事をはじめ、県や市町村が国から委任されたり、国の補助金を受けて行っている仕事について、困っているやこと納得のいかないこと、要望したいことなどがありましたら、気軽にご相談を。

行政相談委員の花篭陽太郎さん

相談はいっさい無料で、秘密は守られます。

花篭さんは、自宅や電話のほか、毎月１回、町総合福祉センターで行われる心配ごと相談会で相談に応じます。

詳しい日程は

町総合福祉センター
☎672-3258
有線01-2105

にお問い合せください。

国民年金コーナー

国民年金保険料の支払いは便利な口座振替をご利用ください

国民年金の第１号被保険者の保険料は、毎月本人が直接納めるしくみになっています。このためつい忘れがちになり、未納期間が発生することがあります。このことで老齢基礎年金が減額されたり、障害基礎年金を受けられないこともあります。

毎月の国民年金保険料を忘れずに納めるために口座振替をおすすめします。

町指定の金融機関の窓口でお申し込みください。

国民年金には免除制度があります

自営業や農業従事者、学生などの第１号被保険者は、国民年金の保険料を毎月納めることになります。それによって将来の老齢基礎年金をはじめ、万が一のときに障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられます。

しかし所得の減少などで、保険料を納めることが難しい場合もあります。そのようなときは、保険料の納付が免除になる制度がありますので、町の年金係にご相談ください。

また学生の場合は免除の基準が緩やかになっています。親元の所得などで判断しますが、それぞれの状況により基準が違います。学生の住民票のある市町村で相談してください。

免除の承認は、申請のあった月の前月から年度末の月まで行われますので、５月末日までの申請ですと１年分の免除承認が可能です。免除に該当すると思われる場合は５月末日までに申請してください。

■問合せ　町民課年金係☎**672-2111** 内線**146**、**147**
有線**01-8900**

まちで見つけた出来事を写真とともにご紹介します

まちの話題かこ

❶紫波ひめ隊の餅つき後の振るまい風景　❷インターハイの100日前推進大会も開催　❸利き酒には大勢の人がチャレンジ　❹子どもたちには的当てゲームを用意　❺最後の餅まきは大いに盛り上がりました　❻美人揃いのお静さんたち

満開の桜の下で城山さくらまつり&地酒まつり開催

四月二十五日、恒例となった城山さくら&地酒まつりが開催されました。前日の天気予報では雨も心配されましたが、風が強い程度で、多数の町民が桜とイベントを楽しみました。

民謡・歌謡大会、日詰シャイニーメイツのブラスバンド演奏に続いて行われた地酒セレモニーでは、町内の醸造元の代表のほか、エーデルワイン製造元と特別出店となった宮守ビールの宮守村長も列席し、周辺市町村との交流も図られました。会場内では初めて味わうという宮守ビールの「わさびエール」（わさびを使用した発泡酒）も人気を呼んでいました。

また、毎年話題となるミス、ミセス、おばあちゃん、プチの各お静は次のように決まりました。

ミスお静　工藤枝理さん（盛岡市）
ミセスお静　星川美穂さん（二日町）
おばあちゃんお静　松村安佐子さん（二日町）
プチお静　小川真知子ちゃん（二日町）

各お静の発表会後には、紫波ひめ隊が踊りと餅つきを披露し、つきたてのお餅が調理され会場に配られましたが、あっという間に二百人分ほどがなくなる人気ぶりでした。

最後は大いに盛り上がったもちまき大会。公園事務所の屋根から、町長をはじめ、ミス・ミセスのお静や関係者が投げる餅に、あちらこちらから歓声が上がっていました。

「ごみポイ捨て禁止条例」直後のクリーン大作戦

四月十一日、町内いっせいのクリーン紫波運動が行われました。朝から好天に恵まれたこの日は、午前六時から七時という早朝にもかかわらず、多くの人が参加し、冬の間に放置されたごみや枯れ草を拾い集めていました。

参加した人からは「これからごみポイ捨て禁止条例も施行されるので、いままで以上にきれいな町になるのでは」と期待の声が上がっていました。

地道な活動が認められ日本道路公団から感謝状

志和町第一町内会（佐々木嘉一郎会長）は、平成元年から紫波インターチェンジ料金所周辺の花壇づくりや清掃活動をしています。この十年間に及ぶ奉仕活動が認められ、四月十九日、志和町第一公民館で日本道路公団東北支社（古道正雄支社長）から感謝状と記念品の贈呈がありました。

十年間で紫波インターチェンジを利用した車は五十二万台を超えます。これまで町内会が行った奉仕活動には、延べ千二百人が参加したことになり、きれいに整理された花壇は、道行くドライバーの目を楽しませています。

防犯連絡委員に委嘱状交付と研修会

新しい防犯連絡委員八十六人が決まり、四月十日、中央公民館で委嘱状交付式と研修会が開かれました。

委嘱状交付式では委嘱状の交付のあと、紫波町防犯協会会長でもある藤原孝町長と紫波警察署の滝田忠州署長から激励のあいさつがあり、その後研修会へ。

研修会では防犯連絡所の役割のほか、紫波警察署管内の犯罪発生状況なども説明され、会場は緊張感にあふれていました。

防犯連絡委員
（敬称略、任期は二年で平成十三年三月三十一日まで）

日詰地区
◆長谷川聖一◆大関正一◆熊谷富生◆高橋新一◆平井祿郎◆堀内喜八郎◆畠山嘉吉◆髙橋數男◆北條定初◆鎌田俊◆堀内幸広◆岡市誠◆髙橋智男◆藤原清治◆赤川一夫

古館地区
小川隆夫◆常石茂◆髙橋榮一◆戸塚秀一◆佐藤修次◆初貝裕◆長谷川文昭◆鷹觜紀美枝◆髙橋温◆山田茂◆田中勲◆石川勝弘◆小原三男◆佐藤敬一◆上野光正◆谷村誠一◆長谷部幸子◆大江俊明

水分地区
浅沼克男◆坂本好司◆藤原修一◆門前久之進◆中村利隆◆菊池隆志◆鷹木光雄

志和第一地区
細田恒男◆小田中泰治◆淺沼允

志和第二地区
細川茂◆藤尾東泉◆浦田博夫◆佐藤廣志◆高田節子

志和第三地区
鷹觜守司◆羽生春夫◆中田勉

赤石地区
佐藤久藏◆簗田忠◆武田之成◆長谷川久男◆高橋満◆荒木田弘一◆長谷川良三◆畠山貢◆箱崎勝紀◆箱崎良行◆佐藤皚◆高橋勝男◆菅原幸雄

彦部地区
栃澤博夫◆佐々木時夫◆佐藤美彦◆佐藤正八◆菊池勝司

佐比内地区
田面山保◆沼田伸一◆梅津孝二◆山下栄悦◆髙橋裕

赤沢地区
吉田繁作◆吉田茂美◆藤原雄二◆松坂嵩◆遠山憲雄◆中村勇一◆山田喜一◆澤田健

長岡地区
佐々木壯一◆北田等◆沢田雅勝◆佐々木好克

まちのぶんげい

俳句【吉田一路・選】

秀逸　初蝶の来しや何色やはり白
（南伝法寺）兼平よしえ

評　高浜虚子の名作「初蝶来何色と問ふ黄と答ふ」を踏まえて、黄色の蝶を期待したが、普通の白い蝶だった。

佳作　初蝶や村に還らぬ兵の墓
（平　沢）藤尾　艶子

佳作　海越えしロイの便りと初蝶来
（中　島）大原　秀子

入選　初蝶のひらひら校門出入りして
（犬吠森）小野寺礼子

入選　点滴の部屋に蝶々迷い込む
（犬　渕）一戸　一秀

入選　参道の馬の墓裏蝶生る
（上平沢）齊藤　静子

入選　露座仏の御肩借りて蝶憩ふ
（南伝法寺）熊谷やえの

入選　初蝶や老ひの足元もつれつつ
（中　島）山崎　将美

入選　しばらくは蝶の行方を追ひにけり
（上平沢）城戸美江子

入選　シーソーの吾子の背につと蝶止まり
（桜　町）小原久美子

入選　風吹いて蝶がおへやにひらひらと
（片寄小五年）畠山　知代

題　六月＝植田　七月＝虹

短歌【菅原照子・選】

特選　雪の田のいづこともなく泥匂ふ
沈黙のわが吐息さながら
（二日町）千葉　英雄

評　雪の田が幾分溶けはじめている田のほとりに何処からともなく匂ってくる泥の香。その沈黙のさまが自分の吐息の様だという作。

秀逸　去年花の休みし万作黄のたちて
待ち待つ心ほのかに満たす
（二日町）鈴木レイ子

評　去年は花が咲かなかった万作。今年は咲いて欲しいと待っていたであろう。黄色が目立って来て待っていた気持を素直に云った作。

佳作　白壁の落書き見れば嫁ぎゆく娘
の幼な日がよみがえる
（上平沢）浅沼　久夫

佳作　病院の九階の窓広くして闇にあ
かりの点々と増す
（稲　藤）細田まこと

佳作　一日の暖に開きし水仙の花夕暮
に鮮やかに見ゆ
（中　島）山崎　将美

川柳【熊谷岳朗・選】

特選　満たされた心に風も温かい
（東長岡）半田　さち

評　風も心に吹く。句も温かい。

秀逸　気がかりな風は胃壁をぼろぼろ
に
（日　詰）森田　嗣子

秀逸　春という風に心も着替えする
（星　山）半田　浩美

秀逸　いい調子丁寧に風の向き変えて
みる
（上平沢）生内アイ子

佳作　春風を笑顔になれぬ花粉症
（日　詰）葛岡ヒデ子

佳作　風の絵を描いて見ても黒い色
（北日詰）北見　城山

佳作　生甲斐は桜吹雪の中に佇つ
（南伝法寺）細川　清一

佳作　吹く風に喜ぶ少女の髪が跳ね
（中　島）山崎　将美

佳作　窓開けて風の流れを替えてみる
（稲　藤）細田まこと

佳作　布団ほし夫婦の風を和ませる
（片　寄）畠山　聡

佳作　命とは何風に問うゴミの山
（日　詰）内川　茂子

題　六月＝足す　七月＝会費

あなたの作品をお寄せ下さい。毎月20日までにハガキで役場広報まで。

慶弔コーナー

平成十一年三月一日から三十一日までの受け付け分から、町に住所のある人を届け出の順に掲載しています。

お誕生おめでとう

氏名	住所	届出人
藤代紗羽希	（佐比内）	利雄
髙橋　毅	（佐比内）	千二
阿部　竜大	（高水寺）	浩明
髙橋志桜里	（南日詰）	幸二
小菅　源	（桜　町）	勉
黒沢　竜史	（二日町）	清史
谷地　春香	（小屋敷）	和也
佐藤　加菜	（日　詰）	文俊
高田　美奈	（日　詰）	繁
平舩　尚貴	（高水寺）	敏幸
大沼　瑞姫	（南日詰）	秀逸
藤尾　若葉	（平　沢）	芳彦
清瀬　茉紋	（中　島）	剛志
福田　大輔	（高水寺）	晴文
藤倉　睦	（高水寺）	学
水本　佳那	（陣ヶ岡）	善隆
藤尾　香月	（二日町）	幸信
小田中　嵐	（上平沢）	威

ご結婚おめでとう

氏名	住所	父母
坂下　泰弘	（中　島）	徳雄
菊池　貴子	（滝沢村）	匠
平舘　仁志	（山　屋）	清人
種森　茂子	（石鳥谷町）	喜代三
佐藤　賢一	（中　島）	武雄
六岡　美緒	（盛岡市）	康光
川村　賢二	（片　寄）	春夫
金澤　由起	（滝沢村）	義宏

おくやみ申上げます

氏名	年齢	住所	届出人
佐々木良光	59	（佐比内）	薫
松岡三榮子	52	（片　寄）	勇
水堂　平治	67	（稲　藤）	誠一郎
赤澤　サダ	86	（日　詰）	幹男
石杜　長八	89	（佐比内）	忠一
加藤　義孝	91	（二日町）	茂夫
柳沢　勘助	87	（南伝法寺）	清
中川　征郎	93	（佐比内）	敬氏
田村サカエ	77	（紫　野）	喜市
髙橋　貢	67	（稲　藤）	力也
及川　クニ	63	（二日町）	
髙橋新太郎	75	（二日町）	十一
小田中マツ	95	（上平沢）	由男
佐藤　ハツ	89	（彦　部）	勘右ェ門
北條　昌雄	82	（北日詰）	
佐藤　重信	80	（平　沢）	重雄
中沢　チヤ	71	（犬吠森）	千代春
澤田　勉	68	（山　屋）	敏彦
袰綿　信雄	86	（彦　部）	キノ
滝浦ハツヨ	88	（南日詰）	利男
遠山満左右	91	（日　詰）	健介
阿部タケ子	65	（日　詰）	久美
佐藤　龍夫	71	（大　巻）	順友
阿部　好英	68	（稲　森）	博光
菊池　慶吉	55	（二日町）	ユウ子
佐藤キクヨ	83	（彦　部）	安雄
藤原　サミ	78	（赤　沢）	隆男
北條　節子	49	（日　詰）	保見

人口の動き

◆平成11年４月30日現在（前月比）◆

人　口	33,120人	（−10人）
男	15,913人	（−　8人）
女	17,207人	（−　2人）
世　帯	9,214世帯	（＋27世帯）

●１年前は（今年との差：増分）

人　口	32,694人	（426人）
男	15,757人	（156人）
女	16,937人	（270人）
世　帯	8,955世帯	（259世帯）

ごみポイ捨て禁止条例の効果は？

～ごみポイ捨て監視員　菅原利夫さんに聞く～

ニュースや新聞などでも大きく取り上げられたごみポイ捨て禁止条例。施行から約一カ月経った五月上旬に、道路や広場などがどう変わったか、ごみポイ捨て監視員の一人、菅原利夫さんに聞いてみました。

四月十五日に行われた委嘱状の交付式。藤原町長から「美しい紫波町の景観を後世に残すため、がんばってください」と激励されていました

腕の緑の腕章が監視員の印

菅原利夫さん

――施行後、約一カ月経ったわけですが、菅原さんから見て、何か変化はあったでしょうか。

菅原　「ごみは確実に少なくなりましたね。四月十一日にクリーン紫波運動が行われて町全体がきれいになりましたが、昨年と比べても、きれいな状態が続いていますね」

――ではほとんどごみはなくなったということですか。

菅原　「そうはいきません（笑）。あくまで昨年と比べてということです」

――どういう種類のごみが捨てられていますか。

菅原　「缶やビンなどの飲み物のごみが一番目につきますね。それと問題なのがスーパーやコンビニなどで品物を入れてもらったビニール袋。中を見てみるとカップラーメンからビンから缶から一緒になって捨てられているんです」

――その捨て方に特徴とかありますか。

菅原　「見ていると夕方や夜に車から捨てていくようですね。捨てられた場所を見ると徒歩で来るような所ではないですし、車の助手席からとしか思えない。それと、捨てられている場所というのがなぜかカーブなんですよ。つまり人に見られないような所で捨てていく」

――実際に捨てているところを見たことはありますか。

菅原　「一度だけ捨てようとしたのは見たことがありますね。ところがそこに看板があったため捨てずに持ち帰っていました。町内には浸透してきたと思いますが、問題は町外からの通行車両です。もっと町外にアピールする必要があるかもしれませんね。モラルの向上がカギだと思います」

環境に対する取り組みなどに関しての情報をお寄せください。リサイクルを実践するサークル、またユニークな取り組みを行っている地区や企業など、身近なエコロジー＆リサイクルに関する情報をお待ちしています。

■紫波ネット「一番身近なリサイクル＆エコロジー」係　〒028-3390　紫波町日詰字西裏23番地1

一番身近なリサイクル＆エコロジー

地球温暖化防止のため

冷蔵庫に詰めすぎないようにしましょう
（電力を4～5%余分に消費します）

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。

二十一世紀のための 新・紫波風土記

水分神社にて 春の息吹を感じる

ラ・フランス温泉館から北へ五〇〇メートル。左手の鳥居が水分神社の参道入口だ。ゆるやかな登り坂を奥に進むと、途中からうっそうとしたスギが両脇を囲む。木々の間から差し込む陽光は、何かしら神秘的な雰囲気をかもし出す。そしてたどり着くのが神社境内。ここには参道以上に見事なスギ木立が傘のように空をおおっていた。昭和五十七年、町指定の天然記念物に指定された十七本のスギたちだ。根元の周りには雑草に混じって山菜も顔をのぞかせている。まさに春爛漫。仕事に疲れたら、ここで大自然の偉大さに浸ってみるのもいいかもしれない。

町長メッセージ

【紫波ネット発行に当たって】

町広報が新年度の四月より、「紫波ネット」となって内容を一新しました。これまでの広報の堅さをなくし、出来るだけ多くの情報の提供を目的とするためです。また町の各出先から発行していた広報関係も、今回の紫波ネットとお知らせ版に集約いたしました。こうした変更は暮らしに役立つ広報となることを念頭においたものです。

今後、町民の方々にモニターをお願いし、より充実した内容にしていきますので、多くの皆さんにご愛読いただきますようお願いいたします。

（藤原　孝）

編集後記

◆天気予報の降水確率は40パーセントで下げ止まり、担当が変わった年は荒れるジンクスはやはり本当かと思われた桜まつりも、全山をピンクの霞で被った桜花と記録的な人出で幕を閉じました。

桜も酒も楽しむことなく下山した多くのスタッフとボランティアに支えられた春の一大イベント。皆さんんの真剣な姿が桜をより美しくするとともに、紫波の印象をさらに良くしていることを実感しました。

（小田島）

【紫波ネット5月号】〈平成11年5月10日発行〉発行◆紫波町／〒028-3390　岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1　TEL 672-2111　印刷／川嶋印刷株式会社